

★アンケート調査項目案(障害福祉サービス事業者)

資料2-3

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
■1 貴事業所について					
1	1	令和6年11月1日現在の貴事業所についてご記入ください。 事業所名	自由記載		
	2	所在地	自由記載		
	3	電話番号	自由記載		
	4	代表者名	自由記載		
	5	記入者名	自由記載		
	6	事業所の設立年月日	昭和・平成・令和、年月日の数値入力		
	7	運営主体	1. 社会福祉法人 2. 社団・財団法人 3. 特定非営利活動法人(NPO) 4. 医療法人 5. 市町村 6. その他		
2	1	令和6年11月現在、貴事業所が取り扱っているサービスの提供内容、または今後提供予定のあるサービスについてご記入ください。 居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援、短期入所(ショートステイ)、療養介護、生活介護、施設入所支援、自立訓練(機能訓練)、自立訓練(生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)、就労定着支援、共同生活援助(グループホーム)、自立生活援助、児童発達支援、放課後等デイサービス、一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援、移動支援、地域活動支援センター、生活ホーム、その他の提供(予定)	現在提供中又は提供予定のサービス	令和6年11月現在、貴事業所が取り扱っているサービスの提供内容、または今後提供予定のあるサービスについてご記入ください。 居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援、短期入所(ショートステイ)、療養介護、生活介護、施設入所支援、自立訓練(機能訓練)、自立訓練(生活訓練)、就労選択支援、就労移行支援、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)、就労定着支援、共同生活援助(グループホーム)、自立生活援助、児童発達支援、放課後等デイサービス、一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援、移動支援、地域活動支援センター、その他の提供(予定)	
	2	〃	定員又は提供可能人数:実数記入		
	3	〃	開所日1日あたりの平均利用人数(令和6年4月の実績で算出):実数記入		
	4	〃	実施時期又は予定時期:年月を実数入力	削除	

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
3		現在、事業運営について課題となっていることは何ですか。 ※該当する番号すべてに○	1. 収入は増加(安定)しているが、配置すべき人材が確保できない 2. 収入が少なく、運営が厳しい 3. 利用者の退所や利用抑制がある 4. 事務量が多く、職員の負担が大きい 5. 事務量が多く、利用者への支援の時間が少ない 6. 日額払いのため、利用者確保をしなければならない 7. 工賃確保のための事業拡大・新規事業の立ち上げ 8. その他		
4		現在のサービスの提供状況において、職員の過不足はどのように感じていますか。	1. 過剰である 2. やや過剰である 3. 過不足なく適当である 4. やや不足している 5. 不足している		
	1	(問4で「4.やや不足している」、「5.不足している」と答えた方) 職員が不足している理由としてどのようなことが考えられますか。 ※該当する番号すべてに○	1. 報酬が低く、人件費が確保できない 2. 仕事の内容がきつく、職員の離職が多い 3. 人材を募集しても人が集まらない 4. その他		
5		令和5年度中に職員の退職はありましたか。	1. いた 2. いない		
	1	(「1.いた」と答えた方) 退職の主な理由は何でしたか。 ※該当する番号すべてに○	1. 給料の問題 2. 労働条件が合わなかった 3. 身体的に体調を崩した 4. 精神的に体調を崩した 5. 家族などの事情 6. 職場の人間関係 7. 他職種への転職 8. 定年退職 9. その他		
6		第三者評価の導入の予定はありますか。	1. 導入している 2. 導入の予定が決定している 3. 導入を検討している 4. 導入の予定はない		
	1	(「4. 導入の予定はない」を回答された場合) その理由をお聞かせください。	自由記載		
7		災害時における障がいのある人の受け入れについてお答えください。	1. 受け入れを考えている 2. 利用者の受け入れは考えている 3. 受け入れは考えていない		
8		事業所の職員・支援員の障がいに対する理解度についてお答えください。	1. 障がいに対して十分に理解がある 2. 十分であるとは言えないが、理解がある 3. 障がいに対する理解に不足する部分がある 4. 障がいに対する理解がほとんどない		
新規				越谷市障がい者等基幹相談支援センターを知っていますか。	1. 知っている 2. 知らない
新規				(「1. 知っている」と答えた事業所) 越谷市障がい者等基幹相談支援センターと連携したことはありますか。	1. ある 2. ない
新規				越谷市地域生活拠点等について知っていますか	1. 知っている 2. 知らない

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
新規				(「1. 知っている」と答えた事業所) 越谷市地域生活拠点等へ登録していますか。	1. している 2. 登録の準備をしている 3. していない
■2 障がい者(児)の権利擁護について					
9		障がいのある人が虐待(疑いを含む)を受けているところを見たことがありますか。	1. ある 2. ない	事業所で虐待(疑いを含む)がありましたか。	
	1	(「1.ある」と答えた方) その虐待はどのようなものですか。	1. (身体的虐待)暴行を加える、正当な理由なく身体を拘束する 2. (心理的虐待)著しい暴言、拒絶反応、不当な差別的言動 3. (ネグレクト・世話の放棄)食事を提供しない、服薬させない 4. (経済的虐待)本人の同意なしに財産や賃金等を使う、理由なく金銭を与えない 5. (性的虐待)本人の同意を得ずにわいせつな行為をしたり、させたりする		
10		虐待をなくすために必要なことはどのようなことだと思いますか。	1. 介護者・支援者に対するケア 2. 虐待を受けている人が相談しやすい体制づくり 3. 地域社会での見守り 4. 障がいの特性や虐待についての知識の啓発 5. その他		
■3 強度行動障害者(児)の状況について(新項目)					
新規				貴事業所において、強度行動障害のある方に対する支援を実施していますか。 ※利用人数に該当するのは障害支援区分3以上、障害支援区分の認定調査項のうち行動関連項目等の合計点数10点以上の方。(障害児にあってはこれに相当する心身状態の方)	1. 実施している 2. 未実施だが、今後実施予定 3. 実施していない
新規				(「1. 実施している」と答えた事業所) 強度行動障害のある方に対する支援に携わる人数についてお答えください。	1. 職員数()人 2. 相談支援専門員(1(職員数)のうち)()人 3. 強度行動障害支援者養成研修の受講修了者(1(職員数)のうち)()人
新規				(「1. 実施している」「2. 未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所) 強度行動障害のある方に対する支援を実施する(又は実施予定とする)ために、貴事業所では、どのような工夫を行っていますか。事業運営上の工夫等について、お答えください。 ※該当する番号すべてに○	1. 本人とコミュニケーションを取り、家族への聞き取りも行うなどして、アセスメントの実施 2. グループホーム、短期入所等の体験利用を通じての受け入れの検討 3. 職員個人への育成計画を作成 4. 外部の事業所視察の実施 5. 精神医療機関との連携 6. その他
新規				(「1. 実施している」「2. 未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所) 強度行動障害のある方に対する支援の実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題などがあれば、お答えください。 ※該当する番号すべてに○	1. 職員数が少ないため、支援体制を構築すること困難 2. 支援するための専用スペースの確保 3. 本人の特性を的確にアセスメントしたり、エビデンスに基づいた支援を実施するための支援が不十分 4. 支援者のスキルアップや支援の検討が必要 5. 他事業所、医療機関との連携が少ない 6. 事業運営に関する相談の場は少ない 7. 特に課題はない 8. その他

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
新規				(「3. 実施していない」と答えた事業所) 今後、強度行動障害のある方を受入れ・支援するためには、どのような事項が重要ですか。 ※該当する番号すべてに○	1. 強度行動障害に対する専門職など十分な人員の確保 2. 強度行動障害の専門的な知識を身につける研修機会の充実 3. 強度行動障害に関わる相談支援の充実 4. 報酬単価の増額 5. 医療機関等の関係機関との連携・強化 6. その他
■4 越谷市のサービスの需給状況について					
11	1	利用者から望む声が多いけれど、不足していると感じられる障害福祉サービス等がありますか。	1. 居宅介護 2. 重度訪問介護 3. 同行援護 4. 行動援護 5. 重度包括支援 6. 生活介護 7. 自立訓練(機能訓練) 8. 自立訓練(生活訓練) 9. 就労移行支援 10. 就労継続支援(A型) 11. 就労継続支援(B型) 12. 就労定着支援 13. 療養介護 14. 短期入所(ショートステイ) 15. 共同生活援助(グループホーム) 16. 施設入所支援 17. 宿泊型自立訓練 18. 計画相談支援 19. 地域移行支援 20. 地域定着支援 21. 自立生活援助 22. 児童発達支援 23. 放課後等デイサービス 24. 保育所等訪問支援 25. 児童入所支援(福祉型) 26. 児童入所支援(医療型) 27. 障害児相談支援 28. 居宅訪問型児童発達支援 29. 移動支援 30. 地域活動支援センター 31. 訪問入浴サービス 32. 日中一時支援 33. その他		
	2	上記1～33で選んだサービスについて、定員増員や新規参入が進まない理由は何だと思われますか。	①利用需要の見込が立づらい ②利用者の継続的な確保が困難 ③サービス提供場所(土地や建物)の確保が困難 ④職員の確保が困難 ⑤報酬単価が低く採算性に不安がある ⑥わからない ⑦その他		
■5 障がい者の工賃収入の向上について					
12		障害福祉サービス事業所等(生產品や役務を提供している事業所)の利用者の工賃アップのために必要なことは何だと思いますか。 ※該当する番号すべてに○	1. 魅力的な生產品の作成 2. 継続的・安定的な生産量 3. 販路の拡大 4. 市民への情報提供 5. 公的機関・民間企業からの発注の拡大 6. その他		
■6 その他					
新規				【医療的ケア児(者)への支援の実施】 医療的ケア児(者)に対するケア(医療的処置)を実施していますか。	1. 実施している 2. 未実施だが、今後実施予定 3. 実施していない

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
新規				(「1.実施している」「2.未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所) 医療的ケア児(者)にどのようなケアを実施していますか。	1. 人工呼吸器 2. 気管切開 3. 鼻咽喉エアウェイ 4. 酸素療法 5. 吸引 6. ネブライザー 7. 経管栄養 8. 中心静脈カテーテル 9. 皮下注射 10. 血糖測定 11. 継続的な透析 12. 導尿 13. 排便管理 14. 痙攣時の坐剤挿入、吸引、酸素投与等 15. その他()
新規				(「3. 実施していない」と答えた事業所) 今後、医療的ケア児(者)を受入れ・支援するためには、どのような事項が重要ですか。 ※該当する番号すべてに○	1. 医療的ケア児(者)に対する専門職など十分な人員の確保 2. 医療的ケア児(者)の専門的な知識を身につける研修機会の充実 3. 医療的ケア児(者)に関わる相談支援の充実 4. 報酬単価の増額 5. 医療機関等の関係機関との連携・強化 6. その他
新規				【合理的配慮】 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として取り組んでいること、今後取り組みたいと考えていることを教えてください。	自由記載
新規				【ハラスメント】 施設・事業所における利用者・家族からのハラスメントの発生状況を把握していますか	1. ハラスメントの発生を把握している 2. ハラスメントは発生していない 3. ハラスメントの有無を把握できていない
新規				(「1. 把握している」と答えた事業所) 施設・事業所における利用者・家族等からのハラスメントの把握方法 ※該当する番号すべてに○	1. 職員からの報告を受けて把握 2. アンケートを実施して把握 3. 会議・ミーティングなどを通じて把握 4. 人事面談の際に把握 5. 職員の相談・苦情窓口にて把握 6. ハラスメントの対策を検討する委員会・プロジェクトチームを通じて把握 7. 管理者が、適宜、担当職員と同行又は同席することで把握 8. 管理者が、定期的に支援記録を確認することで把握 9. その他
13		サービスを提供するにあたって、市に望むことは何ですか。 ※該当する番号すべてに○	1. 行政との情報共有 2. 同じようなサービスを提供する事業所との連携 3. 事業運営に必要な情報提供 4. 地域の当事者団体との交流の機会 5. 障がい福祉に対する市民理解を得るための周知、啓発 6. イベント等の周知に協力 7. その他		
14		市の障がい福祉行政へのご意見や当調査のその他の記入欄に書ききれなかったこと等ございましたら、ご自由にご記入ください。			